

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	歯科パントモ撮影におけるグレードと骨密度との関連
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
<p>【対象】 倫理審査委員会承認後から2026年3月31日の間に大腿骨近位部骨折で新潟県立十日町病院に入院した患者（約300例）</p> <p>【研究期間】 新潟大学医学部倫理審査委員会承認後から2027年3月31日まで</p>	
③概要	
<p>骨粗鬆症の有無の診断には骨密度検査や既存骨折の有無が一般的であるが、スクリーニングの手段のひとつとして歯科パントモ撮影の有用性が報告されています。従来の方法では、パントモ撮影のグレードと『骨粗鬆症の診断歴』に関して関連があると報告されていますが、骨密度や既存骨折との関連は不明です。本研究の目的は歯科パントモ撮影のグレードと骨密度および既存骨折との関連を調査することです。</p>	
④申請番号	2023-0372
⑤研究の目的・意義	<p>骨粗鬆症の有無の診断には骨密度検査や既存骨折の有無が一般的であるが、スクリーニングの手段のひとつとして歯科パントモ撮影の有用性が報告されています。従来の方法では、パントモ撮影のグレードと『骨粗鬆症の診断歴』に関して関連があると報告されていますが、骨密度や既存骨折との関連は不明です。本研究の目的は歯科パントモ撮影のグレードと骨密度および既存骨折との関連を調査することです。</p>
⑥研究期間	新潟大学医学部倫理審査委員会承認後から2027年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>調査に用いる X 線画像は通常の診療に使用するものであり、本研究のために、追加する検査はなく、対象者に不利益が生じることはないと考えられます。データは研究を担当する研究者および分担研究者以外の者に漏洩しないように、作業方法、作業場所、データ保管方法等を厳重に管理致します。個人情報に関しては特定の個人を識別することができない情報へ匿名化を行います。研究成果の公表に際しては、個人が特定されることのないように配慮致します。</p>
⑧利用または提供する情報の項目	年齢（60－90歳）、性別、歯科パントモ撮影のグレード、脊椎および大腿骨近位部の骨密度
⑨利用の範囲	新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座および整形外科学分野

⑩試料・情報の管理について 責任を有する者	新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座 今井 教雄
⑪お問い合わせ先	新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座 今井 教雄 025-227-2272 lmainorio2001@med.niigata-u.ac.jp